

ふれあいもりやま

第86号

湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA輝く障スポ **2025** がやってくる!
第24回全国障害者スポーツ大会

2025年10月25日(土)～27日(月)

「心のバリアフリー」の
扉がひらく!

みんなで
応援に行こう!



もりやまし じっししゅもく
守山市での実施種目



障スポ正式競技
サッカー(知)
2025年10月25日～27日
野洲川歴史公園サッカー場ビッグレイク

障スポオープン競技
ゴールボール
2025年10月19日
守山市民体育館



「心のバリアフリー」…さまざまな心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと

第35回 人権啓発作品展「ふれあいもりやま展」作品募集中!

人と人のふれあいで感じたやさしさやあたたかさ、差別をなくすために育んでいきたいことをテーマとした作品を募集しています。

- ◆募集期間 2025年12月19日(金)まで
- ◆募集部門 ポスター、四コマ漫画、詩、作文、標語
- ◆応募規則 ①各部門ひとり1点まで
②未発表・未投稿の自作の作品であること
- ◆審査 部門ごとに行い、入選作品は次の期間、守山市役所多目的ホールで展示します。
入選者には、記念品を贈ります。
- ◆展示期間 2026年2月13日(金)から18日(水)まで
- ◆応募先 このページの下欄をご覧ください。

詳しくは、市ホームページを
ご覧ください。

ふれあいもりやま



～まちづくり人権教育推進協議会の活動紹介～

総会&記念講演会

6月8日(日)に開催した総会には90人にご参加いただき、議事はすべて原案どおり承認されました。その後、張 琴さん[(一社)アンコンシャスバイアス研究所]をお招きし、「アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)を知ろう! 気づこう!」と題して記念講演会を行いました。講話とグループワークを通して、参加者は自分の言動を振り返ることのできる時間となりました。



総会&記念講演会

次の日程で現地研修を行います。ご興味のある人は、右下の二次元コードからお申し込みください。
■開催日: 10月21日(火)
■開催時間: 8:00～17:30(予定)
■行き先: 午前 NPO法人暮らしづくりネットワーク 北芝(大阪府箕面市)
午後 しあわせの村(兵庫県神戸市)
■費用: 無料(昼食代のみ自己負担)
■申込締切: 10月10日(金)まで
■その他: 申し込み多数の場合は抽選
参加者には後日詳細をお知らせ



アンケートにご協力お願いします

下のアンケートにお答えいただいた人の中から抽選で5人にすてきなプレゼントが当たります。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。たくさんのご回答をお待ちしております!

- (回答期限: 2025年10月31日(金)、消印有効)
- Q1: 記事の中で、特に心に残った部分を教えてください。
- Q2: 本誌を読んだ感想を教えてください。
- Q3: 今後取り上げてほしい内容があれば、教えてください。

アンケートの回答方法

- ①事務局宛にメール、お名前・ご住所・お電話番号をお忘れなく!
- ②右の二次元コードから回答



発行: 守山市まちづくり人権教育推進協議会 発行責任者: 今井 知香

問い合わせ先: 事務局(守山市総合政策部人権政策課内)

〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号
TEL: 077-582-1116 FAX: 077-582-0539 E-mail: jinkenseisaku@city.moriyama.lg.jp

市民意識調査ニュース！※4

「障がい者にかかわる問題」への関心度

「障害者差別解消法」の認知度

高
低

行政機関など、事業者による障がいを理由とする

- ・不当な差別的取扱いの禁止
- ・合理的配慮の提供の義務化
- 社会的なバリアを取り除くために必要かつ合理的な対応をする



解説⑤ 無関係ではありません

例えば、事故や加齢などが理由で、誰しも障がい者になる可能性があります。「障がい者の人権」は、自分ごととして受け止めることが大切です。

解説④ 「障がい」は個人モデルから社会モデルへ

個人モデル

自分が不自由だから
自分が不自由だから
足が不自由だから
自分でなんとか解決しなければならない

社会モデル

点字表記がない
手話通訳がない
エレベーターがない
社会的障壁を取り除かなければならない

心のバリアフリーへの道

ある人が言いました。「障がいがあることがつらいんじゃない。つらいのは、『一人の人間として変わらない存在だ』と理解されないことなんだ。」
理解すること、それが心のバリアフリーの第一歩です。

障がいのある人もない人も、みんなが大切にされる社会

ゴール！

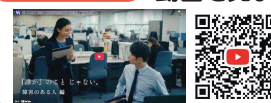
障がいのない人だけが暮らしやすい社会

本当にそれでいいのかな？

「障がい者の人権」は自分とは無関係なの？

「障がい」ってこじんなんだい個人の問題？

ひとやすみ 動画を見よう！



法務省作成ショートムービー

スタート

解説① 障スポってなに？

解説② 「障がいのある人」ってどんな人？

解説③ 市内に障害者手帳を持っている人はどのくらいいる？

解説① 障スポ(正式名称：全国障害者スポーツ大会)は、国民スポーツ大会終了直後に同じ都道府県で開催される障がい者スポーツの祭典です。

目的 障がいのある人がスポーツの楽しさを体験すること
国民の障がいに対する理解促進
障がいのある人の社会参加の推進

歴史 「全国身体障害者スポーツ大会」(1965年～)と「全国知的障害者スポーツ大会」(1992年～)が統合され、2001年から開催

障がいのある人のうち、障スポ出場者は約0.05%※1！
出場アスリートに熱い応援を！

解説②

身体障がい者：身体機能の一部に障がいのある人／視覚障がい、聴覚・平衡機能障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい、肢体不自由、内部障がいのある人※2

知的障がい者：知的機能の発達に遅れがあり、他者との意思の交換や日常生活などについての適応能力が不十分で、特別な配慮が必要な人※2

精神障がい者：なんらかの精神障がいがあり、長期にわたり日常生活または社会生活への制約がある人※2

見た目で見分けていくには、障がいのある人もいます。

解説③ 2024年度の市内保有者は

身体障害者手帳	2,336人
療育手帳	927人
精神障害者手帳	784人
計	4,047人

市民のうち、手帳保有者は約5%※3

- ※1 障がい者数：11,528,000人(令和7年度版障害者白書)、出場者数：約6,000人(スポーツ庁ホームページ)で算出
- ※2 参考：身体障害者福祉法、文部科学省ホームページ、国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センターホームページ
- ※3 2025年3月31日現在の人口85,957人で算出
- ※4 2024年度に守山市が実施した人権・同和問題に関する市民意識調査の結果、関心度は59.6%・認知度は11.1%

本誌発行にあたり、「障がい」の表記については、守山市まちづくり人権教育推進協議会啓発教材部会の協議により、法律等の固有名詞を除き、「障がい」に統一しています。